

船上風景の見所・立ち寄り観光地

※写真は全てイメージです。撮影は「せとうち島たびクルーズ」航路上からのものではございません。



【広島港・江田島沖】

江田島や宮島、四国方面へ向かう船が多数発着する広島港。港を出ると江田島沖には多数の「かきいかだ」や、穏やかな瀬戸内海に浮かぶ美しい島々がクルーズ船の旅を盛り上げてくれます。



【呉湾】

瀬戸内海のほぼ中心に位置し、明治時代に呉鎮守府が設置されたことが契機となり軍港として開港した港です。現在は海上自衛隊呉基地があり、艦船や潜水艦などを間近に見ることができます。



【音戸の瀬戸】

本州と倉橋島の間にある海峡。狭い可航幅、多種多様な船舶が通行する交通量の多さが特徴。平清盛が1日で切り開いたという伝説も残ります。



【安芸灘大橋】

本州と下蒲刈島をつなぐ「安芸灘とびしま海道」の入口に架かる橋。瀬戸内海を連想させる水色の橋が美しい瀬戸内海とマッチしており、船の上だからこそ楽しめる大迫力の絶景が見所です。



【御手洗（大崎下島）】

江戸時代から風待ち、潮待ちの良港とされていた御手洗は、人と情報が集まる要衝として発展し、現在も残るその町並みは、1994年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。また、明治以降の洋風建築や昭和初期の看板なども点在し、時代に応じた発展の跡をとどめており、歴史情緒にあふれたエリアです。



【大久野島】

1971年、地元の小学校がウサギ8羽を島に放したことから始まり、現在は700羽超のウサギが生息しています。いまや国内外から人気のある大久野島ですが、戦時中、日本軍が毒ガスを秘密裏に作り、地図自体からも存在を消された悲しい歴史も。島内には毒ガスを精製していた痕跡が残っています。



【竹原】

平安時代、京都・下鴨神社の荘園として栄えた歴史から「安芸の小京都」と呼ばれる竹原。塩田と町人文化の隆盛が生んだ重厚な家々は今日まで往年の姿を伝えています。港の栈橋すぐそばの「海の駅」では、海産物やお土産販売も。



【瀬戸田（生口島）】

レモンの名産地として知られるとともに、平山郁夫美術館、耕三寺博物館・大理石庭園「未来心の丘」といった観光名所も豊富で、食とアートを楽しめるエリアとして人気の瀬戸田。しまなみ海道レンタサイクルの貸出も行っています。